

施策の体系

目指す姿

若い世代が活躍する 持続的に成長するまち 水戸

—働きたくなる 住みたくなる 子育てをしたくなる 人が育つ—

基本目標

具体的施策

I

生き生きと働ける
しごとを創る

- 1 地域経済をけん引する産業競争力の強化
- 2 多様な雇用の場の創出, 地域雇用の促進

II

新たなひとの流れを
生み出す

- 1 戦略的観光の振興による交流の拡大
- 2 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出
- 3 自然, 歴史資源を生かした魅力ある交流拠点の形成

III

結婚・出産・子育てを
応援する

- 1 安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実
- 2 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進
- 3 移住・定住の推進

IV

誰もが安全に安心して
健やかに暮らせる,
個性輝くまちを創る

- 1 健やかに暮らせる環境づくり
- 2 安全に安心して暮らせる環境づくり
- 3 活躍できる環境づくり

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ー第2次ー

Mito City Revitalization Strategy Phase II

～若い世代が活躍する持続的に成長するまち～

策定の背景

将来的な人口減少が避けられない中、本市においては、2015(平成27)年度に、「水戸市人口ビジョン」及び「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、若い世代が生き生きと暮らせる、持続的に成長するまちを目指し、地方創生に資する各種施策を積極的かつ集中的に推進してきました。

引き続き、訪れてみたい、住んでみたいと思われるような、選ばれる魅力あるまちの構築に向け、地方創生のさらなる深化、加速化を図るため、「水戸市人口ビジョン（第2次）」及び「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2次）」を策定するものです。



I 水戸市人口ビジョン（第2次）

人口の将来展望

目標人口設定の条件

本市の人口ビジョン（第1次）の検証結果に基づき、実効性のある施策を推進することを前提に、国や県のビジョンを踏まえ、目標人口を設定します。

目標人口

国立社会保障・人口問題研究所による推計では、本市の人口は2060(令和42)年には約206,000人まで減少すると見込まれています。人口減少を抑制し、活力あるまちを維持するため、本市の**2060(令和42)年**における目標人口を**245,000人と設定**します。

II 水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2次）

戦略の基本事項 期間：2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5か年

策定の趣旨

本戦略は、将来的な人口減少に対応し、自主・自立したまちづくりを進めていくことを目的として策定するものです。本戦略に基づき、歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、水戸ならではの個性と魅力を高め、にぎわいと交流を創出しながら、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた実効性のある施策を積極的かつ集中的に推進します。

戦略の方向

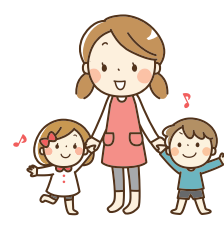
目指す姿

地域の将来を支える人材となる若い世代が、水戸で育ち、生き生きと活動し、暮らし続けるまち、その活力が水戸市全体の持続的な成長や発展につながっていくまちを目指し、次のように定めます。

若い世代が活躍する 持続的に成長するまち 水戸

—働きたくなる 住みたくなる 子育てをしたくなる 人が育つ—

基本目標

I 生き生きと働けるしごとを創る	II 新たなひとの流れを生み出す
産業競争力の強化や商工業、農業等の振興によって、地域経済の活性化を図り、安心して働ける多様な雇用の場の創出や地域雇用の促進、安定的な経済活動につなげていくことを目指します。 	本市の歴史、文化など、魅力ある地域資源を最大限に活用した、戦略的観光の振興、芸術・スポーツ文化によるにぎわいの創出、魅力ある交流拠点の形成によって、観光交流人口の拡大を目指します。 
III 結婚・出産・子育てを応援する	IV 誰もが安全に安心して健やかに暮らせる、個性輝くまちを創る
結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や質の高い教育に取り組み、誰もが安心して出産・子育てができる環境を創出するとともに、本市への移住・定住の取組を推進し、子育て世代に選ばれる魅力あるまちの実現を目指します。 	時代の変化に対応できる都市構造や交通ネットワークを構築するなど、健やかに暮らせる環境づくりを進めるとともに、市民一人一人が安全に安心して暮らし、様々な分野で活躍できる環境づくりを推進し、定住人口の増加を図り、まち全体の活性化につなげていくことを目指します。 

数値目標

4つの基本目標ごとに、2024年度に達成すべき数値目標を設定します

基本目標	項目	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
I	市民所得	912,938百万円 (2016年度)	0.6%増/年
	新 生産年齢人口の就業率	69.3% (2015年)	72.0% (2020年)
II	観光交流人口	3,676,200人 (2018年)	4,660,000人 (2024年)
	新 市内ICの利用台数（年間下車台数）	7,740,667台	7,920,000台
III	合計特殊出生率	1.52	1.70
	新 子育て世帯の社会動態 (18歳以下の子を持つ20～39歳の世帯)	▲107世帯 (2018年)	50世帯 (2024年)
IV	社会増（人口動態）	▲177人 (2018年)	400人 (2024年)

「水戸のまち創生」重点プログラム

本戦略の目指す姿の実現に向けたプログラム

若い世代が、水戸で学び、働き、安心して暮らし続けられる環境の創出に向けて、「学ぶ」、「働く」、「暮らし続ける」、「子どもを生み育てる」のライフステージに応じた戦略的な取組を優先的かつ重点的に推進します。

※若い世代・・・18歳から40歳前後まで

プログラムのテーマ

水戸で学び、働き、安心して暮らし続けられる環境の創出